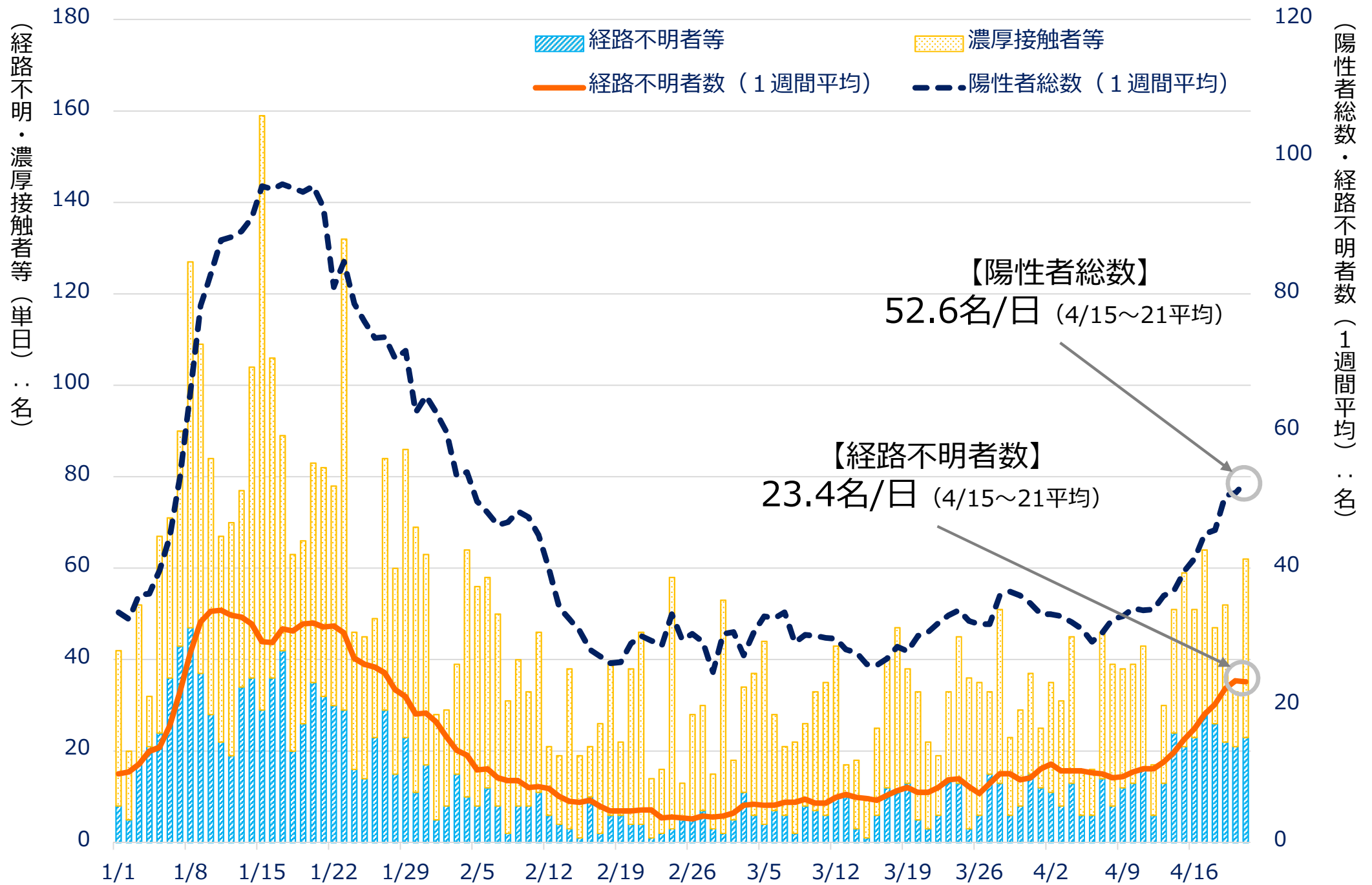
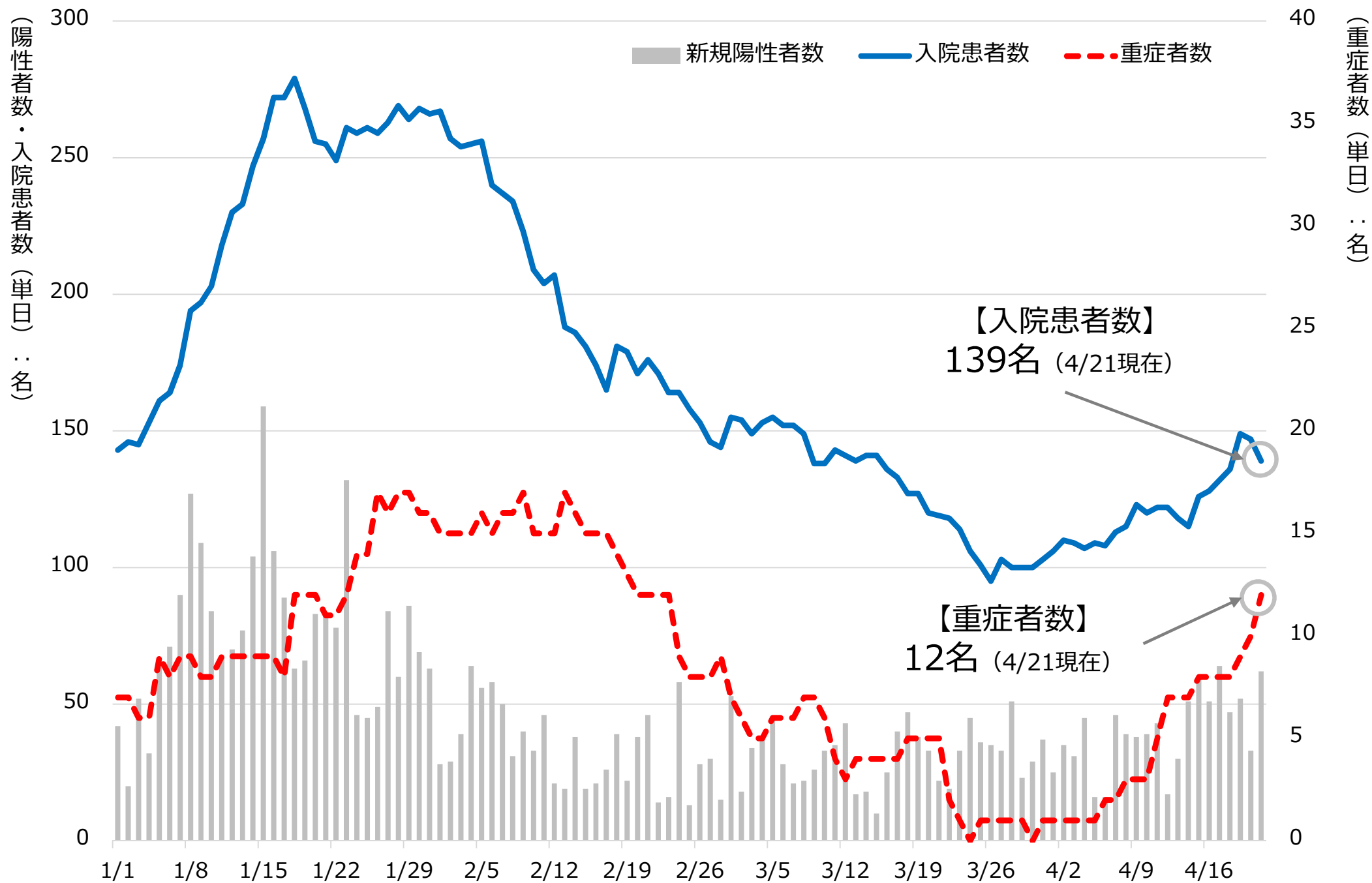


県内の感染状況の推移

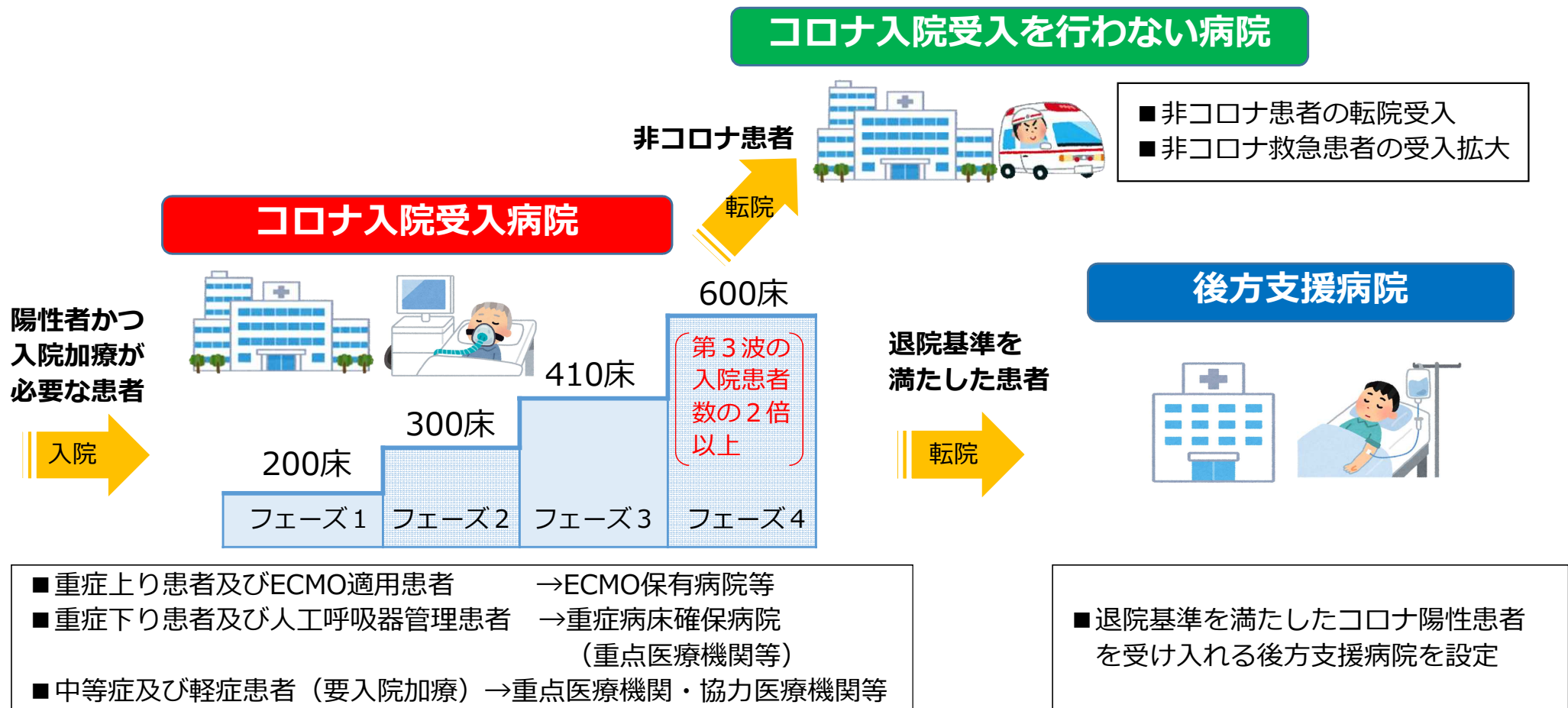


県内の病床稼働状況の推移



コロナ医療と一般医療の両立に向けた医療機関の役割分担

- 県全体を「1つの病院」と考え、**県全体のベッドコントロールを入院調整本部に一元化**
- 本県の限りある医療資源と地域医療とのバランスを考慮し、**コロナ入院受入病院それぞれで軽症～重症病床を確保し負担を分散**
- 直ちに入院加療を要しない軽症者等は宿泊施設療養等とし、医療機関への負担を軽減
- **退院基準を満たした患者は後方支援病院へ転院を促進**し、入院受入病院の対応能力を向上
- **コロナ入院の受入を行わない医療機関におけるコロナ入院受入病院からの非コロナ患者の転院受入や非コロナ救急患者の積極的な受入を促進**し、入院受入病院の負担を軽減



今後の感染拡大に備えた医療提供等体制整備の進捗等について

R2.6.19国通知

- 年齢分布・実効再生産数・協力要請のタイミングから、最大感染者数・必要病床等を推計

R3.3.24国通知

- 一般医療と両立できる確保病床数・入院率・入院期間から、受入れ限界の感染者数を推計
- 感染急増時（第3波の2倍程度）における必要病床数を推計

4月末、5月末に国へ報告

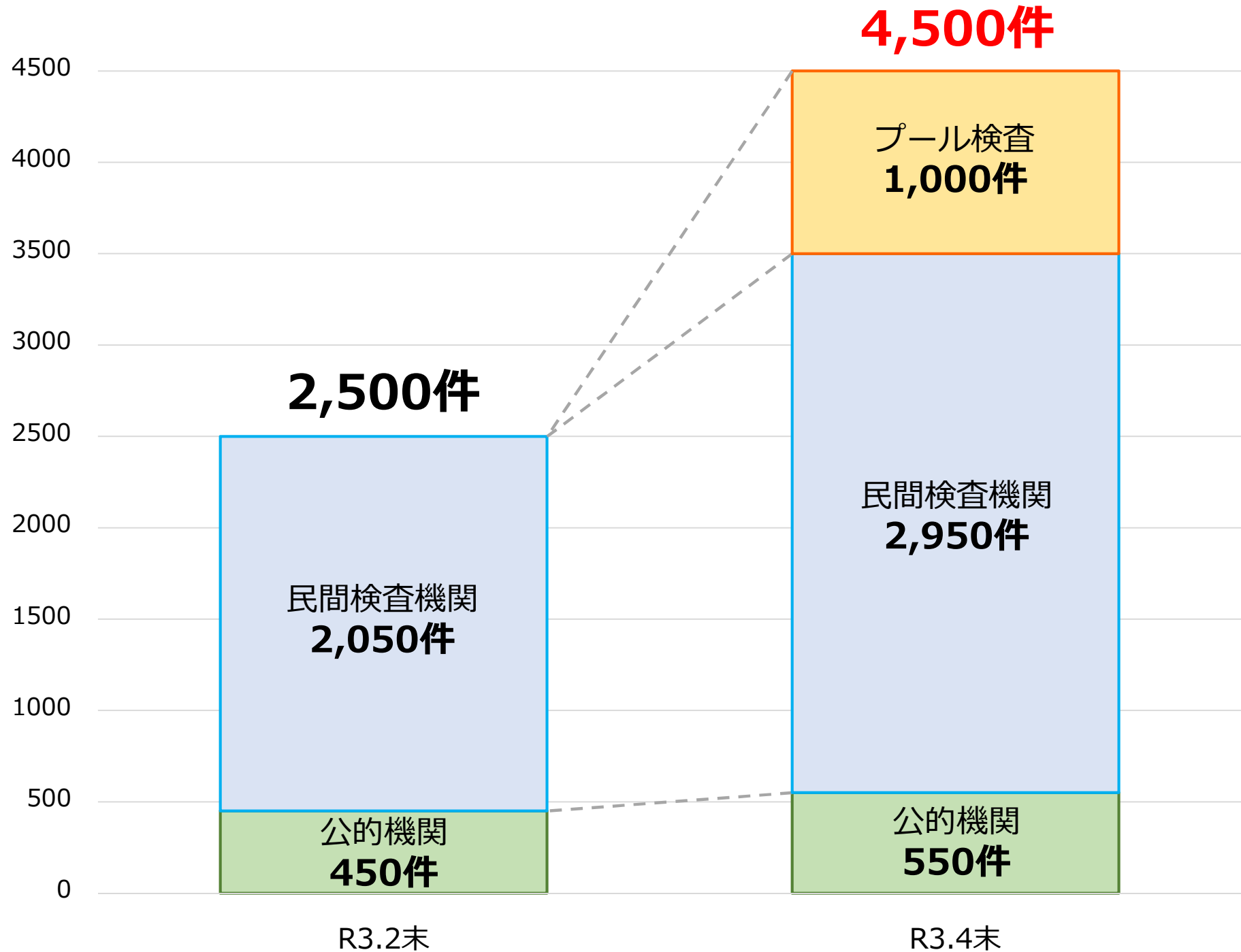
推計結果

- **平時（410床）**：1週間平均101人/日の感染者まで受入れ可能
- **感染急増時（第3波の2倍）**：入院患者数は454人→稼働率85%では534床必要

【推計値の比較】

	6/19通知	3/24通知（国初期値で推計）		3/24通知（本県実態で推計）	
		平時	感染急増時	平時	感染急増時
最大感染者数	52人/日 まで感染拡大	191人/日 まで耐えられる	192人/日 まで感染拡大と仮定	101人/日 まで耐えられる	192人/日 まで感染拡大と仮定
入院患者数 （うち重症者数）	440人 （64人）	349人 （38人）	315人 （34人）	349人 （25人）	454人 （40人）
必要病床数 【病床稼働率85%】	440床 （稼働率100%）	410床 で運用と仮定	371床	410床 で運用と仮定	534床
宿泊・自宅	230人	941人	883人	427人	878人

新型コロナウイルスに対する本県の検査能力について



新型コロナウイルスワクチン接種のスケジュール

- 医療従事者：4月上旬、約2割が接種済み。全ての医療従事者に2回目の接種が完了するのは6月初旬～の見込み。
- 高齢者：4月12日に接種開始。入所系福祉施設（特養、老健等）の従事者及び入所者を優先的に接種するよう市町村に依頼。
- 障害者施設：5月から大幅に供給量が増える高齢者向けワクチンを活用し、入所者・従事者へ接種開始。

